

中央区文化・国際交流振興協会だより



サザランド・シャイアー・シニア・フェスティバル
(オーストラリア サザランド市姉妹都市親善写真展より)

● 特集 ●

やさしい日本語

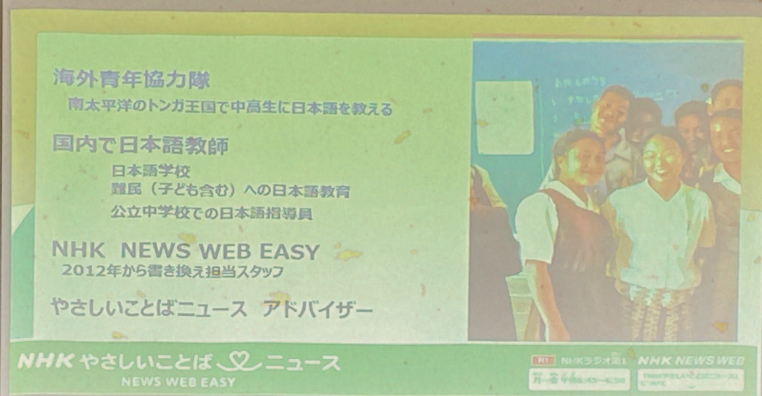
「やさしいことばニュース」制作アドバイザー 山屋 頼子氏

■ 令和7年度の事業計画と予算

■ 中央区 ひと 粋・活き 染物展示館・虎の檻 はまちょうたかとら 濱 早 高虎



やさしい日本語



令和7年3月に開催した中央区文化・国際交流振興協会第2回ボランティア研修会では、NHKラジオ「やさしいことばニュース」制作アドバイザーの山屋 頼子氏を講師としてお招きし「伝わる言葉！『やさしい日本語』にチャレンジしよう」と題して、難しい文章をやさしい表現に書き換えるコツを学びました。今回、語り尽くせなかった点も含め講演に関連した内容について寄稿していただきました。

「やさしい日本語」は、一般的な日本語をまだ十分に理解できない外国人にもわかるように配慮した日本語です。

日本に住む外国人は、昨年過去最高を更新しました。今までは外国人と接する機会がなかった人たちも、公園やスーパー、病院、スポーツクラブ、さまざまな場面で外国人と出会う機会が増えているのではないのでしょうか。ぜひ「やさしい日本語」で、コミュニケーションしてみましょう。

1 「やさしい日本語」より翻訳のほうがいいのでは？

最近、生成 AI などを利用して、多言語への翻訳も利用しやすくなっています。しかし、多言語だけでは十

分ではありません。なぜなら、多くの現場では多言語に対応できる体制が十分に整っていないためです。

例えば、外国人の生徒のための高校説明会のチラシについて考えてみましょう。高校説明会のチラシはインターネット上で多言語に翻訳されています。生徒は、その情報を見て会場に行きましたが、ビルのどの階に行ったらいいかわかりません。ビルの入り口には警備員がいますが、何と言って尋ねたらいいか、わかりません。もし、「やさしい日本語」のチラシもあったら、生徒は「外国人のための高校の説明会に行きます。どこですか」と尋ねることができるのではないのでしょうか。

日本に住む多くの外国人は、何らかの方法で日本語を勉強しています。多くの人は簡単な言葉や文を使った「やさしい日本語」ならわかると言っています。日本人とコミュニケーションを取るための手段として、「やさしい日本語」が必要なのです。

2 情報を整理して、最も大切なことは何か考えましょう

文章を「やさしい日本語」に書き換えるときに、最初にすることは、情報の整理です。

一番伝えたいことは何か、そしてそれを伝えるために、最低限必要な情報は何かを判断します。木の絵を描くこ



山屋 頼子（やまや よりこ）氏
神戸大学大学院修了後、JICA のシニア隊員としてトンガ王国に派遣。
帰国後、日本語教師として活躍。
2012 年から NHK の外国人向けのニュースサイト「NEWS WEB EASY」の書き換えスタッフとして従事。
2024 年秋から NHK ラジオで始まった「やさしいことばニュース」の制作にアドバイザーとして携わっている。

とをイメージしてみましょう。まず幹を描きます。それから、最低限必要な枝、または花、葉を描きます。花びら一枚一枚の形や葉脈を描く必要はありません。文章のどの部分が幹で、どの部分が葉脈なのかを判断し、葉脈についてはカットします。「やさしい日本語」では、シンプルさが大切です。ディック・ブルーナの「ミッフィーちゃん」や、わかやまけんさんの「こぐまちゃん」をイメージしましょう。

区の広報紙に出ていた「スプレー缶やカセットコンロ用ガスボンベ、充電式電池の出し方」を例に考えます。このおしらせで最も大切なことは、ガスボンベと充電式電池の正しい処分方法を伝えることです。それと同時に、正しく分別しなければ火災の恐れがあることも伝える必要があります。分別が必要な理由を伝えたほうが、協力してもらえるのではないのでしょうか。



3 1文を短くする

次に行うのは、1文を短くすることです。長い文は、

複文になっていることが多く、主語と述語が遠く離れていて、読んでいる途中で迷子になってしまいます。正しく理解してもらうためには、文を分け、できるだけ単純な構造にします。

次の文を見てみると、「充電式電池」の前に「モバイルバッテリー、～使用されている」という修飾部があります。そのうえ、(リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池)という情報も追加されています。

モバイルバッテリー、ハンディークリーナーなどに使用されている充電式電池(リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池)を誤った分別区分で排出すると、火災事故につながる恐れがあります。

この文を3つに分けます。語彙や表現を変えなくても、かなりわかりやすくなっているのではないのでしょうか。主の文を前に出したほうが、大切な情報を伝えやすくなります。

スプレー缶やカセットコンロ用ガスボンベ、充電式電池の出し方

スプレー缶やカセットコンロ用ガスボンベを出す際に可燃性ガスが残っていると、清掃車や処理施設の火災事故の原因になり大変危険です。

また、モバイルバッテリー、ハンディークリーナーなどに使用されている充電式電池(リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池)を誤った分別区分で排出すると、火災事故につながる恐れがあります。

安全なごみの収集にご協力をお願いします。

スプレー缶やカセットコンロ用ガスボンベ

- ・スプレーボタンを押しても中身が出ないことを確認してください。
- ・空の容器は、中身の見える袋に入れて「資源」の日に出してください。

◎ガス抜きは、完全に空になるまで行ってください

(危険なので容器に穴を開けるなどの行為は絶対にしないでください)。

充電式電池

- ・区内の公共施設9カ所や小学校など19カ所で電池類として回収しています。また、充電式電池が内蔵されている場合は、区内の公共施設7カ所や小学校など19カ所で回収箱(投入口:縦15cm×横26cm以内)により、小型家電として回収しています。

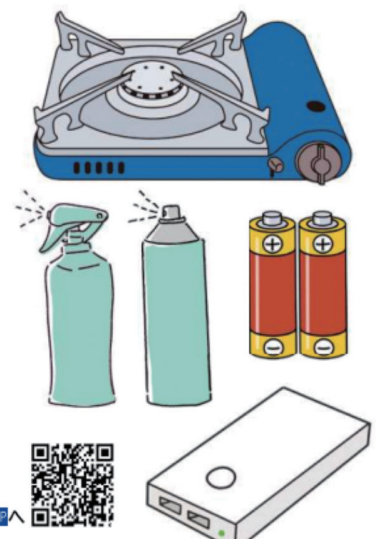
◎接続端子をビニールテープで覆うなど絶縁処理をしてください。

☎中央清掃事務所作業係

☎(3562)1521

中央清掃事務所清掃事業係

☎(3562)1523



詳しくは区HPへ

- ① 充電式電池を誤った分別区分で排出すると、火災事故につながる恐れがあります。
- ② 充電式電池は、モバイルバッテリー、ハンディークリーナーなどに使用されています。
- ③ 充電式電池とは、リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池です。

4 難しい言葉や表現をやさしくする

文が短くなると、表現や語彙に目が届きやすくなります。①の文だと、「充電式電池」「誤った分別区分」「排出」「つながる恐れ」が難しいので、書き換えを検討します。

「充電式」の「式」を書き換え、「充電して使う電池」とするのはどうでしょう。「充電」はよく使う言葉なので残します。これも書き換えて、「電気を入れる電池」とすると、なぞなぞのようになってしまいます。日本人がわからない表現にすると、コミュニケーション手段として機能しないので、避けましょう。

一方、「誤った」を、話し言葉でよく使う「まちがえて」に書き換えても、問題ありません。

「排出」のような漢字が続く熟語は「出します」のように、ひらがなが混じった言葉のほうがやさしくなります。

カタカナの言葉は、英語話者にはわかりやすいだろうと思いがちですが、発音が英語と異なっていて難しいこ

とがあります。また、和製英語と呼ばれる日本独自の表現の場合もあります。例えば、「ボンベ」を調べてみると、ドイツ語で「爆弾」を意味する言葉が日本でガスを入れる容器を表す言葉になったとのことです。この場合、英語でよく使う「ガスシリンダー」としたほうがいいでしょうか。しかし、「ガスシリンダー」としてしまうと、日本人がわからなくなってしまいます。このような場合は、絵に文字を添えたり、「ガスが入っている小さい缶」と説明を補ったりする方法があります。

②の「使用されています」のような受身文はできるだけ避けたほうが良いと言われています。この文では、「充電式電池は、モバイルバッテリーや～の中に入っています」とすると、単純な構造でわかりやすい文になります。

5

さあ、書き換えてみましょう！

これで「やさしい日本語」に書き換える準備ができました。実際に文章を書き換えてみましょう。書き換えたら、他の人に読んでもらうことが大切です。日本人でも外国人でも構いません。複数人の目が入ることで、誤解を招く表現や情報不足を避けることができます。他の人と話し合ううちに、一人では考えつかなかったことや、よりよい表現が出てきます。

「やさしい日本語」に正解はありません。もとの文章より少しでもやさしく、一人でも多くの人に伝わるように、みんなでアイディアを出し合い、工夫をして、「やさしい日本語」に挑戦してください。



ボランティア研修会当日のグループワーク

令和 7 年度の事業計画と予算の概要をお知らせします。
事業内容の詳細は決まり次第、協会のホームページや
区のおしらせに掲載してまいります。

令和 7 年度事業計画

I 文化振興事業

1 機関誌発行・ホームページの管理運営

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を定期的に発行するとともに、スマートフォンでも見られる協会ホームページを活用して、協会の事業紹介や最新のイベント情報をお知らせいたします。

機関誌

部 数：5,500 部 A4 判

発行回数：年 2 回発行（7 月—83 号 12 月—84 号）

ホームページ

URL：https://www.chuo-ci.jp/



2 芸術・文化の普及

(1) コンサート

親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供し、区民の文化活動の推進を図ります。

開催予定：令和 7 年 9 月 5 日（金）午後 6 時 30 分開演

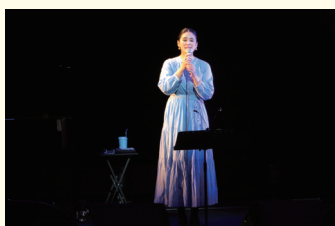
会 場：銀座ブロッサム（中央会館）ホール（日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」改修中のため）

内 容：村治佳織 & 村治奏一 ギター・デュオコンサート
～姉弟デュオが醸し出す 至高の響き～

出演者：村治 佳織、村治 奏一

参加費：2,000 円

定 員：830 名（予定）



令和 6 年度コンサート

(2) 文化講座

中央区に縁のある文化や芸術、歴史等をテーマに専門家による連続講座を開催し、理解を深めるとともに、区民の文化意識の向上を図ります。

開催予定：令和 7 年 10 月 全 3 回

会 場：本の森ちゅうおう 多目的ホール（予定）

内 容：日本の心を未来につなぐ 和服の魅力（仮題）

講 師：未 定

参加費：無 料

定 員：80 名（予定）



令和 6 年度文化講座

(3) 特別文化講演会

美術館・博物館で開催される展覧会に関連した講演会を、NHK との共催により年 3 回程度開催し、区民の文化意識の向上を図ります。

なお、聴講した各受講者には、NHK から展覧会の入場券（1 枚）が贈呈されます。

1 回目

東京国立博物館 特別展「葛屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」

開催日時：令和 7 年 5 月 2 日（金）午後 6 時 50 分開演

会 場：日本橋社会教育会館ホール

演 題：葛屋重三郎と江戸の浮世絵 ～特別展「葛屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」の見どころ～

講 師：村瀬 可奈氏（東京国立博物館 学芸研究部 調査研究課 絵画・彫刻室研究員）

参加費：無 料

参加者：167 名

2 回目

日本科学未来館 特別展「深宇宙展～人類はどこへ向かうのか」To the Moon and Beyond

開催予定：令和 7 年 8 月 6 日（水）午後 6 時 40 分開演

会 場：日本橋社会教育会館ホール

演 題：深宇宙展がひらく宇宙への扉—監修者とめぐる見どころと宇宙開発の未来像

講 師：戸梶 歩氏（宇宙開発エバンジェリスト）

参加費：無 料

定 員：200 名（予定）

3 回目以降は未定

(4) 古典芸能鑑賞会

中央区に深い関わりをもつ古典芸能を鑑賞する機会を提供し、伝統文化に対する愛着心を育むとともに、その継承・普及を図ります。企画・制作は、中央区を中心に活動する古典芸能実演家で構成する「中央区古典芸能の会」に委託しています。

開催予定：令和 7 年 11 月 1 日（土）午後 5 時開演（演目により変動）

会 場：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
※劇場リニューアル後の初日を予定。

内 容：未 定

参加費：2,000 円（中学生以下は 1,000 円）

定 員：未 定



令和 6 年度古典芸能鑑賞会

(5) 文化推進事業助成

中央区内の文化活動を一層振興していくため、区民等による文化活動等に対しその経費の一部を助成するとともに、後援を行います。

①文化創造・発信事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の 9/10 の範囲内（上限 200 万円）

②文化団体活動助成

助成金額：当該団体活動の対象経費の 1/2 の範囲内（上

限 40 万円)

③文化推進事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の 1/2 の範囲内（上限 10 万円）

(6) 中央区まるごとミュージアム

区民や来街者が区内各所で行われるさまざまな文化事業を体験できる総合的な文化イベントを中央区と共催で開催します。（18 回目）

開催予定：令和 7 年 11 月 9 日（日）

会 場：中央区全域

(7) 文化振興プロデュースチーム

「中央区文化振興プラン」の提言（平成 20 年度 3 月）に基づき、区民（企業、NPO 等を含む）の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、中央区と協会が協力して文化の専門家等からなるプロデュースチームを設置しています。今後も、区内の文化事業のさらなる充実・発展に資するため、適宜助言をいただいております。

構 成 員：6 名（検討項目によって委員を追加します。）

Ⅱ 国際交流振興事業

(1) 国際交流のつどい

外国人と日本人との交流を推進するため、日本の伝統文化等を紹介するとともに、外国文化にも触れられる交流イベントを開催します。

開催予定：令和 7 年 11 月 15 日（土）正午～午後 4 時

会 場：築地社会教育会館

内 容：伝統文化体験コーナー、国際交流サロン、防災コーナー等

(1) INTERNATIONAL EXCHANGE PARTY

This event is held once a year to promote cultural exchange as well as deepen mutual understanding between Japanese and non-Japanese residents. Please come and experience Traditional Japanese Culture and various attractions!

Date & Time: Sat., November 15, 2025 12:00 – 16:00

Place: Tsukiji Social Education Center

Events: Experiences of Traditional Japanese Culture, International Exchange Salon, Disaster Preparedness, etc.



令和6年度国際交流のつどい（和太鼓ワークショップ）

(2) 国際交流サロン

区内在住・在勤・在学の外国人と日本人が、日本の文化等を体験できるイベントを通じて交流を楽しめる場を提供します。

開催予定：毎月 1 回（年 11 回）原則として土曜日の午後

会 場：男女平等センター「ブーケ 21」ほか

内 容：海苔、和菓子、茶道、盆踊り、防災等

(2) INTERNATIONAL EXCHANGE SALON

With the help of International Exchange Salon volunteers, we hold various events on cultural experiences where

both Japanese and non-Japanese residents can enjoy free and open communication.

Schedule: Once a month (11 times a year), generally, Saturday afternoons.

Place: Gender Equality Center, “Bouquet 21” etc.

Events: Seaweed, Japanese Sweets, Tea Ceremony, Bon Dance, Emergency Drill, etc.



令和 6 年度国際交流サロン（防災訓練）

(3) 日本語教室

日本語でのコミュニケーションが困難な区内在住・在勤・在学の外国人等（以下「学習者」という。）を対象に、ボランティアが日本語を指導する（以下「日本語ボランティア」という。）協会主催の教室を運営します。

このほか、年々増え続ける教室参加希望者やその多様化に対応するため、日本語ボランティアが主催する各教室に対して、運営に要する経費の助成や後援名義の使用、学習者紹介等の支援を行っています。

[協会主催の日本語教室]

教室	①水曜日教室	②木曜日教室	③土曜日教室
開催予定	毎月第 1・2・3 水曜日 (8 月を除く) 午後 6 時 30 分～8 時	毎月第 1・2・3 木曜日 (8 月を除く) 午前 10 時～11 時 45 分	毎月第 2・3・4 土曜日 (8 月は第 2・3 土曜日を 除く) 午前 10 時～11 時 45 分
会場	男女平等センター 「ブーケ 21」	新富区民館	新富区民館



令和 6 年度日本語教室

[協会が支援する日本語教室]

教室	①ワールドフレンズ 日曜にほんごクラブ	②日本語 おたすけたい	③月島日本語倶楽部
開催予定	毎週日曜日 午前 10 時～11 時 30 分	月曜日（月 3 回） 午後 7 時～8 時 30 分	毎週火曜日 午前 10 時～11 時 50 分
会場	日本橋社会教育会館	日本橋社会教育会館	月島社会教育会館
教室	④日本語コミュニケーション・ パートナー	⑤銀座日本語教室	⑥にこにこ日本語
開催予定	火曜日（月 3 回） 午後 7 時～8 時 30 分	毎月第 1・2・3 水曜日 (8 月を除く) 午前 10 時～11 時 30 分	木曜日（月 3 回） (8 月を除く) 午後 7 時～8 時 30 分
会場	新富区民館	築地社会教育会館	佃区民館
教室	⑦CNC 月島	⑧にほんご生活	
開催予定	毎月第 1・2・3 金曜日 (8 月を除く) 午前 10 時～11 時 45 分	毎週土曜日 午後 2 時～3 時 30 分	
会場	月島区民館	築地教会 別棟	

(3) JAPANESE LANGUAGE CLASSES

Chuo Cultural and International Exchange Association (CCIEA) hosts Japanese Language classes taught by volunteer teachers. In addition, we sponsor the classes which are hosted by volunteers to accommodate the increasing number of participants and diversifying needs.

I Japanese Classes that we host:

Class	① Wednesday Class	② Thursday Class	③ Saturday Class
Schedule	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays (Except August)	The 1st, 2nd & 3rd Thursdays (Except August)	The 2nd, 3rd & 4th Saturdays (Except the 2nd & 3rd Saturdays in August)
Time	18:30~20:00	10:00~11:45	10:00~11:45
Place	Gender Equality Center "Bouquet 21"	Shintomi Community Hall	Shintomi Community Hall
Fee	About ¥2,500 (no fee for the lesson, only for the textbook)		

II Other Japanese Classes that we sponsor:

Class	① World Friends Sunday Japanese Club	② Nihongo Otasuketai	③ Tsukishima Nihongo Club
Schedule	Every Sunday	Monday (3 times per month)	Every Tuesday
Time	10:00~11:30	19:00~20:30	10:00~11:50
Place	Nihonbashi Social Education Center	Nihonbashi Social Education Center	Tsukishima Social Education Center
Class	④ Partners of NIHONGO Communication	⑤ Ginza Japanese Language Class	⑥ NIKO NIKO NIHONGO
Schedule	Tuesday (3 times per month)	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays (Except August)	Thursday (3 times per month) (Except August)
Time	19:00~20:30	10:00~11:30	19:00~20:30
Place	Shintomi Community Hall	Tsukiji Social Education Center	Tsukuda Community Hall
Class	⑦ CNC Tsukishima	⑧ Nihongo Seikatsu	
Schedule	The 1st, 2nd & 3rd Fridays (Except August)	Every Saturday	
Time	10:00~11:45	14:00~15:30	
Place	Tsukishima Community Hall	Tsukiji Church Annex	
Fee	Fees differ depending on the class.		

(4) 日本語指導者養成講座

日本語教室受講希望者の増加に対応するとともに、協会やボランティアが主催する教室活動を充実させるため、日本語ボランティアを養成する協会独自の日本語指導者養成講座を開催します。

開催期間：令和7年5月～9月、全44時間

講師：明海大学外国語学部 准教授 西川 寛之

受講者数：27名

(5) 日本語ステップアップ講座

各教室で活動する日本語ボランティアの学習意欲に対応するとともに、指導力・技法のレベルアップを図ります。また、直近の養成講座を修了した新人ボランティア向けのフォローアップ講座も開催します。

開催予定：14時間

(6) ボランティア活動支援

協会登録ボランティアの資質向上と活動支援のため、研修会を開催します。

また、中央区から区の事業等に協力の依頼があったとき、協会登録のボランティアを派遣します。

ボランティアの種類及び登録者数(令和7年3月末日現在)
登録者数：392名(実人員)

①通訳・翻訳ボランティア：116名

②イベントスタッフボランティア：202名

③日本語ボランティア：244名

④国際交流サロンボランティア：12名

⑤防災語学ボランティア：72名

ボランティア研修会

開催予定：年間 2回

(7) 姉妹都市親善写真展

中央区と姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市との親善を一層深めるため、お互いの生活や風景、行事等を紹介する写真を交換し、写真展を開催します。

開催予定：令和8年1月～2月

会場：4箇所で開催(区役所、日本橋区民センター、月島区民センター、晴海区民センター各1階)

(8) 国際交流推進事業助成

協会の目的である国際交流を振興するため、区民が主体となっていく国際交流事業に対して事業の実施に要する経費の一部を助成するとともに後援を行います。

助成金額：当該事業の対象経費の1/2の範囲内(上限10万円)

令和7年度予算

<収入>

科目	予算額(円)	説明
事業収入	2,045,000	コンサート、古典芸能鑑賞会参加費等
区補助金	130,227,000	区からの補助金
寄付金	1,000	
雑入	1,000	預金利子
収入合計	132,274,000	

<支出>

科目	予算額(円)	説明
事業費	81,346,000	
文化振興費	74,953,000	文化振興事業に要する経費
国際交流振興費	6,393,000	国際交流振興事業に要する経費
管理費	50,428,000	
人件費	46,732,000	職員の給与に関する経費
管理運営費	3,696,000	理事会、事務費等
予備費	500,000	
支出合計	132,274,000	

染物展示館・虎の檻 濱甲高虎

型彫りや縫製、粋な手しごとで
江戸の洒落を布に染め抜く



合財袋

●プロフィール

町の人々から「ゆうちゃん」と呼ばれる三代目高橋由布さん。「布」の字が入った名前を大人になった今はとても気に入っています

●染物展示館・虎の檻

中央区日本橋浜町 2-45-6

03-3666-5562

<http://www2.gol.com/users/ip0611031455/>

月～土曜日（祝日・年末年始等を除く）

9:00～18:00（土曜日のみ 17:00）

都営新宿線浜町駅 A2 番出口 徒歩 1 分

●中央区まちかど展示館 ウェブサイト

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/>

ひとつひとつ
手作りの
手ぬぐい



高虎のれん

浜町公園通り沿いに「虎の檻」と称するガラス張りの店を構える「濱甲高虎」は、半纏・のれん・手ぬぐいなどを手掛ける染元。三代目の高橋由布さんにお話を伺いました。

●お店の歴史を教えてください。

呉服卸出身の初代が、昭和 23 年（1948 年）に染元として独立したのが始まりです。当時は小物の扱いはなく、反物の商い。二代目として私の父が店を継ぐと、オーダーを受け、半纏やのれんなどを作りながら、手ぬぐいや合財袋などの小物商品を企画。職方を抱えて縫製し、店頭で売ようになりました。祖父は自分もまだまだ元気なうちに「好きなようにやりなさい」と、当時 40 代だった父に店を任せたそうです。

●染元とはどんなお仕事なのでしょう？

染物の世界では、染元が図案を作成して型を彫り、染め工場に染色してもらいます。扱う生地や商品によって得意とする工場が異なります。型紙は昔も今も、伊勢和紙に柿渋を塗ったもの。彫った後に紗を張り、漆を塗って仕上げます。現在では図案、型彫り、紗張りまでの工程をうちで行っております。

●洒落の効いた図案はどのように誕生？

看板商品の合財袋は、江戸っ子たちが一切切なんでも入れたという袋物。「切」のかわりに「財」の文字を当て縁起を担いでいます。200 種類ほどある図案はほとんど二代目が考案し

たものです。そっと菊だけ描いて「聞く（菊）だけ野暮」、玉のような大きな丸と下駄を合わせて「たまげた」など、洒落の効いたものばかり。いわゆる「謎かけ」や「判じ絵」です。このほかに、江戸の町火消したちが組印として掲げていた「まとい文字」のシリーズなどもあります。

●大切にしている、こだわりとは？

「本染め・手づくり・江戸からずれない」が信条。最近は手ぬぐいもプリントが増えましたが、うちはもちろん本染めです。袋物はすべて店の上にある工場で縫っています。一点ずつ裏地が違い、同じものはひとつありません。時代にあわせて、スマホサイズの小ぶりな掛帘やトートバッグなどアイテムも増えてきましたが、日本橋の染元として「江戸」にこだわり続けています。

●町のことや思い出話を聞かせてください。

幼い頃は目の前の浜町公園が遊び場でした。現在でも日本橋浜町で商売を続けている方々や住んでいる方々と、人とのつながりが途絶えることのない温かな町です。小学生の頃は、夏になると毎年祖母が新しい浴衣を仕立ててくれ、古い浴衣は寝巻きに。だからパジャマというものを知らなくて。修学旅行の時に初めてパジャマを買ってもらいました（笑）。

●これからは、どのような商いを？

店頭のほか、ネット販売もしていますが、直接生地に触れてもらいたいのので、全国の百貨店に定期的に出店。それは続けていきたいです。小さな染元だからこそ、一点ずつ大切につくっていききたいと思っています。

中央区文化・国際交流振興協会役員名簿

（令和 7 年 7 月 9 日現在）

理事長	三田 芳裕	中央区観光協会副会長
副理事長	田中 智彦	中央区副会長
理事	秋元 一孝	東京商工会議所中央支部副会長
〃	柴川 賢	中央区商店街連合会会長
〃	森山 照明	中央区工業団体連合会会長
〃	増田 卓也	東京日本橋東ロータリークラブ元会長
〃	石田 善計	東京銀座ライオンズクラブ元会長
〃	桑原 洋一	京橋地域町会連合会会長
〃	清水 貞男	日本橋地域町会連合会会長
〃	滝澤 誠	月島地域町会連合会会長
〃	石本 正幸	中央区文化連盟連絡協議会会長
〃	木本 慎一	中央区スポーツ協会副会長兼理事長
〃	野口 幸一	中央区 P T A 連合会会長
〃	江田 輝一	東京青年会議所中央区委員会委員長
〃	濱田 徹	中央区区民部長
〃	北澤千恵子	中央区教育委員会事務局次長
監事	竹沢えり子	中央区まちかど展示館運営協議会会長
〃	伊藤 孝志	中央区会計管理者

表紙 地元のシニアたちが勇壮な和太鼓演奏を披露

（オーストラリア サザランド市姉妹都市親善写真展〈令和 7 年 1 月～2 月〉より）

オーストラリア シドニーにある総合アートセンター「ヘーゼルハーストアートセンター」で開催されたサザランド・シャイアー・シニア・フェスティバルでは、地元のシニアたちが和太鼓の演奏を勇壮に披露。日本とオーストラリアの文化の交流です。

特集は、中央区文化・国際交流振興協会第 2 回ボランティア研修会で講演いただいた、NHKラジオ「やさしいことばニュース」制作アドバイザー山屋 頼子氏の「伝わる言葉！『やさしい日本語』にチャレンジしよう」に、講演では語り尽くせなかった点も含めて寄稿していただきました。

「ひと 粋・活き」では、中央区が誇る文化資源を紹介する「中央区まちかど展示館」の一つであり、江戸っ子が愛してきた染物に関する貴重な資料を展示している「染物展示館・虎の檻」、和装小物を扱う工房「濱甲高虎」の高橋由布さんにお話を伺いました。